

部 方 針 書

年度	部名	部長名
R7	総務部	大畑 秀幸

1 部の経営方針（部全体を俯瞰したマネジメントの目標）

No	項目（業務、組織、人材等に関するマネジメント目標）
1	効率的かつ安定的な市政運営が行われるよう、全庁及び議会との調整を適切に行うとともに、内部統制と組織規律の強化により、「市民から信頼される市役所」を実現する。
2	優秀な人材の確保に努めるとともに、職員研修やOJTにより次代を担う職員の育成を行う。また、公平・公正な人事制度や給与制度により職員のモチベーションの向上を図るとともに、良好な職場環境の整備と中・長期的展望を見据えた定員管理により、最小の人数で最大の効果が発揮できる、やる気と積極性に満ちた組織を構築する。
3	市民の安心・安全な暮らしを守るために、迅速かつ的確な避難情報の発信や職員の防災対応力など市の防災体制の強化に取り組む。さらに、率先避難体制の整備や防災教育の充実を通じて、地域全体の防災力を高め、防災・減災に強いまちづくりを進める。あわせて、消防体制・危機管理体制の充実・強化を図る。
4	公共施設を計画的かつ適正に管理することで、施設の延命化や行政事務の効率化を進めるとともに、財政負担の軽減や平準化に取り組む。また、遊休資産の積極的な活用や売却を進め、自主財源の確保に取り組む。
5	市民の利便性と行政事務の効率性を高めていくため、本市の総合的なデジタル政策に基づき進捗管理を行うとともに、デジタル環境の整備やデジタル人材の育成に取り組む。
6	適正な入札・契約事務の履行による良質な公共調達を実施するとともに、地元発注等を通じた地域経済の発展と、労働環境の改善に取り組む。
7	公平・公正・適正な課税と税收確保に取り組む。
人財育成・内部統制	副課長の段階で決裁が完全なものとなるよう部内全体で取り組むことで若手職員の育成を図るとともに、プレイングマネージャー化している管理職の本来の役割であるマネジメント（人材育成・業務管理）が十分に発揮される組織となるよう取り組む。

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	総務課	諏訪 智子

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

各部署の事務事業の適正な実施や改善、効率化等が図れるよう市政全般の総合調整を行う。
市議会の招集及び議案の調製並びに条例等の立案審査、解釈及び指導を行う。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	【公文書適正管理】 公文書の適正な管理、適切な保存及び利用をすることで、市民に信頼され、より良い市民サービスの提供を行う。	個別計画(宇部市DX推進計画アクションプラン)	・公文書の定義の定着 ・公文書作成の手引の改訂	公文書の適正管理(R7)	・規則、規程等の制定 ・公文書の定義に関するガイドライン作成	・公文書の定義の定着 ・公文書作成の手引の改訂	—
2	【アナログ規制の点検、見直し】 デジタル化の妨げとなっている条例等について、業務プロセスの見直し、デジタル技術の活用、条例等の改正に向けた伴走型支援を行う。	個別計画(宇部市DX推進計画アクションプラン)	アナログ規制の点検、見直しにより改正する条例等の件数	全ての条例等について点検、見直し(R8)	1件	10件	—
3	【ペーパーレス化】 庁内のデジタル化によりペーパーレスが進み、業務効率改善やコスト削減が図られる。	個別計画(宇部市行政改革推進計画アクションプラン)	R3年度複合機印刷枚数に対する割合	△50% (R8)	△25%	△50%	—
4	【組織改正】 職員数の減少が見込まれる中、多様化する住民ニーズに対応しつつ最大の組織力を発揮できるよう、柔軟に業務を実施する持続可能な組織を目指す。	前期実計	行政組織の見直し	総合計画実現に向けた組織の確立(R8)	2室新設 2課廃止 総合支所廃止	最適な組織体制の構築	—
人財育成・内部統制	・個人情報の取扱い、市議会に提出する議案の審査など、全庁に影響する事務について高い精度でチェックを行えるよう職員の資質向上に努める。 ・市全体の事務の統括部門として、市民から信頼される事務の執行に努める。						

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	内部統制推進室	諏訪 智子

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

内部統制の取組を強化し、全職員が法令等を遵守しつつ、適正な事務の執行を徹底することで、市民に信頼される市政の実現を目指す。
全職員の危機管理意識の向上を図り、適正な事務の執行を図っていくため、内部統制の取組の評価、検証を行う。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	【リスクの未然防止】 手引に従い、全体でリスクに対する共通意識を持ち、マニュアルの整備、業務改善等を行うことにより事務処理ミス事案の発生をゼロにする。	個別計画(宇部市DX推進計画アクションプラン)	事務処理ミス事案件数	0件 (R7)	4件	0件	未来5
2	【事務処理ミス事案の再発防止】 各部の推進リーダーが発生したミス事案について、要因分析や防止策等を共有し横展開することで、全庁における再発防止を確実に実施する。	個別計画(宇部市DX推進計画アクションプラン)	事務処理ミス事案再発件数	0件 (R7)	-	0件	未来5
人財育成・内部統制	・業務プロセスやリスク管理の効率化を図るため、幅広い業務知識や分析力をもった人材の育成に努める。 ・市民から信頼される行政の模範となるため、適正な事務の執行を徹底する。						

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	職員課	吉岡 徹

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

職員の適正な定員確保を図るとともに、「人材育成基本方針」のもと、個々の職員の能力・意識の最大化を図り、その力を最大限発揮できる人事制度を構築することで、限られた人材が最大限に活用される組織力向上の好循環に繋げ、効率的で質の高い行政運営を実現する。
職員の働き方改革を進めていくための職場の環境改善に取り組むことで、職員のモチベーションを最大限に引き出し、市民サービスの向上を図る。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	【職員の定員適正化】 計画的な職員採用や適材適所の人員配置により、職員のパフォーマンスや職場の活力が増進し、市民サービスを充実させる。	個別計画 (定員適正化計画)	適正な職員数の確保 ()内は再任用短時間職員を含む。	1,089人 (1,144人) [R7年度]	1,045人 (1,094人)	1,089人 (1,144人)	未来5
2	【職員の人材育成】 個々の職員の能力・意識の最大化と効果的な人事制度により、限られた人材が最大限に活用される組織力向上の好循環を実現し、市民サービスを向上させる。	個別計画 (宇部市職員成長戦略)	昇任したくないと考える職員の割合の減	32.8%未満 [R13年度]	32.8%	32.8%未満	未来5
3	【職員の働き方改革】 職場環境を改善していくことで、職員のパフォーマンスを最大限発揮させる。	個別計画 (宇部市職員成長戦略)	①時間外勤務(係長職以下:月平均) ②メンタルヘルス不調職員の割合	①10時間以下 [R13年度] ②1.50%以下 [R13年度]	①10.85時間 ②1.94%	①10時間以下 ②1.50%以下	—
人材育成・内部統制	課内のコミュニケーションの活性化と課の使命に対する共通認識を高めるとともに、事務処理ミス防止の意識を高める。また、所属職員の今後のキャリアを見据えた人材育成を継続的に実施する。						

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	防災危機管理課	坂田 雅之

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

市民の安心安全な暮らしを守るため、防災・減災力及び消防力の充実・強化を図る。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	防災体制の強化 (災害時の迅速かつ的確な対応)	前期実計	自然災害による死者数	災害による 死者ゼロ		災害時の職員 対応力強化	未来1
2	地域防災力の向上 (率先避難・呼びかけ避難体制の構築)	前期実計	率先避難重点促進地域 (累計)	19地区	18地区	19地区	未来1
3	消防力の強化 (消防庁舎、消防団機庫建替え)	前期実計	①宇部西消防署の建替え ②宇部中央消防署東部出張所の建替え ③上宇部分団消防機庫の建替え 進捗率(事業費ベース)	100%	24.60%	100%	未来1
人財育成・内部統制	何でも話せる環境づくり(コミュニケーション能力:表現力を向上させる) 部下から上司への提案や意見交換、上司から部下へ課題解決に向けた情報共有を行う		個別協議・課全体でも いつでも協議する				

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	デジタル推進課	大西義紀

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

デジタルも使った変革により、市民・事業者・市職員など、誰もが「便利さ」「暮らしやすさ」を実感できるような社会の実現を目指す。
本市全体のDXを推進し、市民サービスの充実、行政事務の効率化・持続性強化、DX推進の基盤となる庁内環境整備に取り組む。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	宇部市DXの推進により 誰もが“便利さ”暮らしやすさ”を実感できるような社会を実現する。	個別計画(宇部市 DX推進計画)	アクションプランKPI 年度末時点達成率 (%)	70 (R8)	67	70	未来5
2	行政DXの推進により、 市民サービスの充実、行政事務の効率化、人的資源の最適化を実現する。	総合戦略	電子申請対応可能率 [申請件数ベース] (%)	73 (R8)	71	72	未来5
3	国が主導する自治体情報システム標準化対応を確実に実施し、 将来的な市民サービスの充実、行政事務効率化に繋げる。		対象業(20業務)の標準準 拠システム移行完了	標準準拠 システムへの 移行完了(R7)	移行に係る要 件定義	標準準拠 システムへの 移行完了(R7)	未来5
人財育 成・内 部統制	業務の引継ぎ・継続が可能な仕組みづくりと運用 システム操作ミスが起きにくい仕組みづくりと運用		仕組みづくりと運用	仕組みづくり と運用 (R8)	—	知識・技術・ 手順の 形式知化	—

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	契約監理課	津田 裕代

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

市が発注する建設工事、業務委託、物品調達等の入札・契約事務を適正に履行するとともに、地元事業者への発注を通じて地域経済の健全な発展に寄与する。
市が発注する公共工事において、受注者からの工事目的物を、期限内に工事検査により適正かつ厳正に確認する。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	デジタル化の推進により、入札・契約事務を適正かつ効率的に履行するとともに、事業者の負担軽減や利便性の向上が図られる。	その他	電子入札拡充	全業種での 電子入札 対応(R10)	対応業務 拡充に向けた 調査実施	R8拡充(その他 業務委託)に向 けた準備	—
2	工事検査を適正かつ効率的に行うとともに、事業者の負担軽減や利便性の向上が図られる。	その他	工事書類のスリム化	手引作成 (R7)	—	手引作成	—
3	公契約指針の推進により、受注者の適正な労働環境の整備や地域経済の健全な発展に繋げる。	その他	指定管理者制度等での 賃金スライド制度導入	運用開始 (R7)	—	運用開始	—
人財育 成・内 部統制	誰が担当になっても業務継続性が確保され、事務処理ミスなく効率的に業務が行われる。	その他					

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	財産管理課	羽根 伸宏

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

公共施設等総合管理計画に基づいた公共施設の更新・統廃合・長寿命化等の対策を計画的に進めるとともに、本庁舎をはじめとする公共施設の適切な維持管理・利活用を行い、市民が安心・安全・快適に利用できる公共施設マネジメントを行う。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	民間事業者による公共施設の包括的な管理を委託することにより、業務の効率化、施設の維持管理の品質や安全性の向上を実現する。	その他	公共施設の安心・安全	安全性向上させる修繕・保守点検(R11)	事業者選定・契約	施設所管課等と連携した業務運営	未来5
2	市民交流棟やうべ広場が完成し、市民の交流やにぎわいが実現している。	その他	にぎわいのある市民交流棟の運営	にぎわいのある市民交流棟の運営(R8)	市民交流棟の運営に向けた調整	市民交流棟オープンとスムーズな運営	—
3	個別施設計画を着実に進めることで、財政負担の軽減・平準化を図りながら、公共施設の安全性を確保し、最適な管理を運営する。	個別計画(公共施設等個別施設計画)	公共施設等個別施設計画の進捗	進捗率100%(R11)	進捗率49%	進捗率54%	—
4	遊休資産の有効活用や公共施設使用料の見直しなど、市有財産が有効活用されている。	その他	公共施設使用料の見直し	適正な使用料スタート(R8)	検証	検証し見直し実施	—
人財育成・内部統制	業務が多岐にわたるが、ミスなく業務を遂行するため、係内で情報共有しあい、課長・副課長も入っていく組織風土となっている。						

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	市民税課	林 和彦

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

社会経済情勢に応じて変化する税制度に的確に対応し、適正かつ効率的な税務行政を推進する。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	基幹系システム標準化(新システム)への対応を図る。	その他	新システムの運用開始	新システムの運用開始 (R7)	-	新システムの運用開始	—
2	庁内他課及び税務署・県税事務所との積極的な連携により、未申告者の特定及び課税を行うことにより、税の公平性及び自主財源の確保を図る。	その他	市民税に係る課税客体の適正把握	課税客体 個人:80,000件 (R13) 法人:4,000件 (R13)	課税客体 個人:79,110件 法人:3,924件	課税客体 個人:80,000件 法人:4,000件	—
3	本市で進めるDX推進事業やeLTAXの利活用の促進により、市民の利便性の向上、課税事務の効率化を図る。	その他	①給与支払報告書eLTAX等 電子データによる提出の促進 ②税務署へ回送する確定申告データの電子データ化率の向上 ③個人市民税の申告の電子化	データ提出割合 100%(R13) データ提出割合 100%(R13) 運用開始 (R7)	データ提出割合 74.5% データ提出割合 70.7% —	データ提出割合 80% データ提出割合 80% 運用開始	未来5
人財育成・内部統制	職員一人ひとりが持つ可能性を伸ばし、自己研鑽やOJTによるスキルや専門的な知識を高め、より高いパフォーマンスを発揮できるよう支援することに取り組む。さらに、コミュニケーションを図り、働きがいのある良好な職場環境づくりを目指す。また、これらにより効率的かつミスのない課税事務を行う。						

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	資産税課	石川 晃

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

市の財政を支える基幹税目である固定資産税(土地・家屋・償却資産)の賦課業務を公平・適正かつ効率的に遂行するとともに、社会経済情勢に応じて変化する税制度に対応して安定した財源確保を目指す。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	基幹系システム標準化への対応		新システムへの確実な移行	稼働開始 (R7)	Fit & GaP完了	R8.2.24 稼働開始	
2	適正の課税(償却資産 課税客体の把握と課税)		調査件数に対する申告率	80% (R8)	46%	60%	
3	DX推進による業務の効率化(GIS、RPA)		入力等作業時間の縮減	約370時間 (R8)	138時間	200時間	
人財育 成・内 部統制	課内業務の平準化 ・特定の職員への作業の集中や属人化の防止 ・マニュアル作成・研修等により職員間のスキルの平準化に努める						

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	収納課	松尾 春美

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

健全な行財政運営を図るための重要な財源である市税収入の安定的な確保と適正な管理を行う。
市が保有する債権について、各債権担当課との連携及びサポートを行い、適正な債権管理を行う。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	自主財源の確保、市民負担の公平性	個別計画(第4期宇部市債権管理計画)	市税現年度分の収納率	99.50% (R8)	96.38% (R7.3月末)	99.40%	—
2	自主財源の確保、市民負担の公平性		市税滞納繰越分の収納率	27.50% (R8)	26.65%	27.00%	—
3	自主財源の確保、市民負担の公平性	個別計画(第4期宇部市債権管理計画)	市税の収入未済額	499,000千円 (R8)	1,288,397千円 (R7.3月末)	537,000千円	—
人財育成・内部統制	一人ひとりが自分の知識・経験(成功、失敗事例)を周りに伝えることにより、OJTの活性化と組織力の強化を図る。						